

平成 30 年度事業計画

1 献眼および角膜移植の普及啓発に関する事業

- (1)献眼や角膜移植に対する県民の理解が得られるよう、パンフレットやポスターなどを県、市町村、医療機関等に配布し、関心や知識を深めてもらうための事業を行う。
- (2)10月10日の「目の愛護デー」にちなみ、長崎県眼科医会と協力して、献眼登録者を対象とした眼科無料検診を行い、アイバンクに対する理解を深めてもらう。
- (3)長崎大学眼科のホームページの一部に長崎アイバンクのページを掲載し、献眼、登録についての啓発を行う。
- (4)献眼者に対し、感謝状を贈呈する。
- (5)ライオンズクラブ、県眼科医会等、県内の関係機関と協力し、事業の推進を図る。

2 献眼者および角膜移植希望者の登録に関する事業

前述の関係機関の協力を得て、登録申込はがきやパンフレット等を配布し、献眼登録者の増加に努める。また、県内の医療機関の協力により、角膜移植希望者の登録を行う。

3 運営基盤の確立

- (1)当法人の趣旨に賛同し、協力していただける方や関係機関を広く募集し、寄附を募る。
賛助会員制度を設立したい。それに伴い、年一回程の広報誌の発行等を検討する。
- (2)県内各所に設置している募金箱の設置場所の拡充。